溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No171 新著の紹介(コーナー)

『ジョブ・クラフティング: 仕事の自律的再創造に向けた理論的・実践的アプローチ』高尾義明先生(東京都立大学教授)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長 桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

http://smizok.net/ E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長(2020-2021年)。京都大学博士(教育学)。 *詳しくはスライド最後をご覧ください

> ※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。 公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

(ご紹介)



高尾義明
たかおよしあき

東京都立大学経営学研究科 教授

大阪市生まれ。京都大学教育学部教育社会学科卒業後、素材系企業での勤務を経て、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。2つの私立大学での勤務を経て、2007年から東京都立大学(旧名称:首都大学東京)准教授。2009年から同教授(現在に至る)。

新著のご紹介



仕事の自発的リデザイン *** 白桃香房 神田 をサポートする概念!

プ・クラフティング (LC)。その最新のトピックスについて、第一絵の研究者たちが多角的に議論するとともに、実務的インブリケーションもわかりやすく整理。組織のワーク・エンゲイジメントドトを提索する。1000円で、1000円では、100

上を模索する実務家にも本邦初のJC研究書。 多くの気づきを与える。本邦初のJC研究書。 高尾義明・森永雄太(編)『ジョブ・クラフティングー仕事の自律的再創造に向けた理論的・実践的アプローチー』白桃書房(2023年3月刊行)



第1章 ジョブ・クラフティング研究の現在地

第2章 関係性クラフティングの拡張と統合

第3章 ジョブ・クラフティングの認知次元と構成主義

第4章 ジョブ・クラフティングがもたらす職業性ストレス 研究の新たな展開

第5章 ジョブ・クラフティングを続けるための周囲の支援

第6章 上司のジョブ・クラフティングと部下のジョブ・ クラフティングの関連

第7章 産業保健におけるジョブ・クラフティング

第8章 ジョブ・クラフティングの先行要因とその効果

第9章 テレワーク下のジョブ・クラフティング

第10章 協同志向ジョブ・クラフティングの可能性

第11章 シニア労働者のジョブ・クラフティング

第12章 高度外国人材のジョブ・クラフティングとイン

クルーシブ・リーダーシップ

もう1冊のジョブ・クラフティング書籍 『「ジョブ・クラフティング」で始めよう 働きがい改革・自分発!』

東京都立大学大学院教授 高尾 義明 著

何に働きがいを感じるか、それは人それぞれで個人差が大きいものです。お給料の良し悪しか、仕事内容か、あるいは周囲からのリスペクトかも知れません。働きがいをより良くしていくためには、働く人たち一人ひとりに寄り添うような考え方が求められるのではないでしょうか。

ジョブ・クラフティングという言葉は、従業員が仕事を みずから変化させ仕事を再創造する、というところから来 ています。「自分で仕事にひと匙、仕事の再創造」が働き がいにつながるのです。

自分発の働きがい改革を進め、ワークライフをより豊かなものに変えていくきっかけ作りのための一冊です。



公益財団日本生産性本部生産性労働情報 センター刊

それではご覧ください

新著紹介

『ジョブ・クラフティング: 仕事の自律的 再創造に向けた理論的・実践的アプローチ』

2023年5月12日

東京都立大学大学院経営学研究科 高尾義明(ytakao@tmu.ac.jp)

自己紹介(高尾義明)

所属:東京都立大学大学院経営学研究科教授

プロフィール:1967年大阪市生まれ。京都大学教育学部教育社会学科卒業後、大手素材系企業での4年間の勤務を経て、京都大学大学院経済学研究科修士課程・博士課程修了。博士(経済学)。九州国際大学経済学部、流通科学大学情報学部勤務を経て、2007年4月より東京都立大学(旧名称:首都大学東京)大学院社会科学研究科経営学専攻准教授。2009年4月より現職。専門は経営組織論・組織行動論











Takao 高尾義明 森永雄太 クラフティンク 仕事の自律的再創造に向けた 理論的・実践的アプローチ

仕事の自発的リデザイン ** 白桃 音房 神田 をサポートする概念!

9

ビジネスを取り巻く環境が激しく変化する時代に注目されるジョブ・クラフティング (JC)。その最新のトピックスについて、第一線の研究者たちが多角的に議論するとともに、実務的インプリケーションもわかりやすく整理。組織のワーク・エンゲイジメント向上を模索する実際家にも本事にも大きなである。

第1章 ジョブ・クラフティング研究の現在地

第2章 関係性クラフティングの拡張と統合

第3章 ジョブ・クラフティングの認知次元と構成主義

第4章 ジョブ・クラフティングがもたらす職業性ストレス 研究の新たな展開

第5章 ジョブ・クラフティングを続けるための周囲の支援

第6章 上司のジョブ・クラフティングと部下のジョブ・

クラフティングの関連

第7章 産業保健におけるジョブ・クラフティング

第8章 ジョブ・クラフティングの先行要因とその効果

第9章 テレワーク下のジョブ・クラフティング

第10章 協同志向ジョブ・クラフティングの可能性

第11章 シニア労働者のジョブ・クラフティング

第12章 高度外国人材のジョブ・クラフティングとイン

クルーシブ・リーダーシップ

白桃書房 (2023年3月刊行)

共編者森永雄太先生の紹介



- 武蔵大学経済学部経営学科教授
- 兵庫県宝塚市生まれ。神戸大学 大学院経営学研究科博士後期 課程修了。博士(経営学)。
- 武蔵大学経済学部准教授を経て、 2018年4月より現職。専門 は 組織行動論、経営管理論。

説明の流れ

- ジョブ・クラフティングの基礎知識
 - (1)ジョブ・クラフティングのイメージ
 - (2)ジョブ・クラフティングの定義
 - (3)ジョブ・クラフティングへの注目の背景
 - (4)三種類のジョブ・クラフティング
 - (5)ジョブ・クラフティングの影響と効果
- 新著『ジョブ・クラフティング』の紹介
 - ▶本書の特徴
 - ▶第1部目次
 - ▶第2部目次
 - ▶第5章の紹介
 - ▶第3部目次

(1)ジョブ・クラフティングのイメージ

「仕事の中に『自分』をひと匙入れること……。 その効き目はきっと計り知れないのだと思う。そして、 もし『本当はあの仕事がやりたかったけれど、今はこの 仕事しかできなくて』という状況でも、その"ひと匙"は きっと有効だ。イマイチ乗り気になれない仕事も、 『なんだか面白くなってきた』、と味わいを変えるかも しれない。」*

⇒ジョブ・クラフティング≒**自分をひと匙入れること**

*一田憲子『「私らしく」働くこと—自分らしく生きる「仕事のカタチ」のつくり方』マイナビ出版(2015年) p.38より引用

(2)ジョブ・クラフティングの定義

定義:働く人たち一人一人が,**主体的に**仕事や 職場の人間関係に**変化**を加えることで, 与えられた職務から自らの**仕事の経験を 創り上げていくこと***

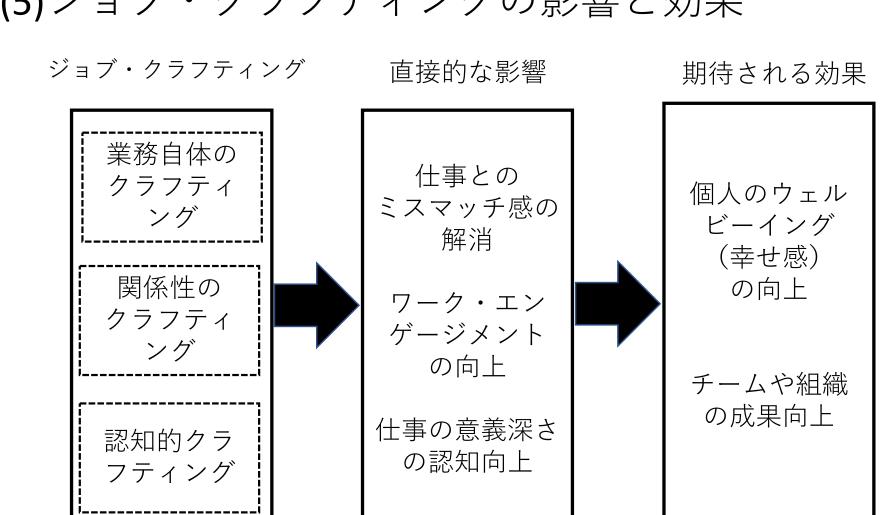
与えられた 職務 ジョブ・ クラフティング 自分なりの手触り 感がある仕事 (経験)

*元となる学術的定義:従業員が、自分にとって個人的に意義のあるやり方で、職務設計を再定義・再創造するプロセス

- (3)ジョブ・クラフティングへの注目の背景
 - (a)組織・個人双方の自律への期待
 - (b)コロナ禍や働き方改革によるコミュニケー ションの希薄化
 - (c)個人の働きがいやウェルビーイング (幸せ) への注目 の高まり

- (4)三種類のジョブ・クラフティング
 - ①業務自体のクラフティング:具体的な業務の内容や 方法を変更したり,工夫を加えてみようとする
 - ②関係性のクラフティング:仕事の遂行に関連する他者 (同僚,上司,顧客,取引業者等)との関係性を 増やしたり,関わり方を変えてみようとする
 - ③認知的クラフティング:個々の業務や仕事全体の意味 や目的の捉え方を変えてみようとする
 - ※他の分類もあります(詳細は本書『ジョブ・クラフティング』 第1章をご覧ください)

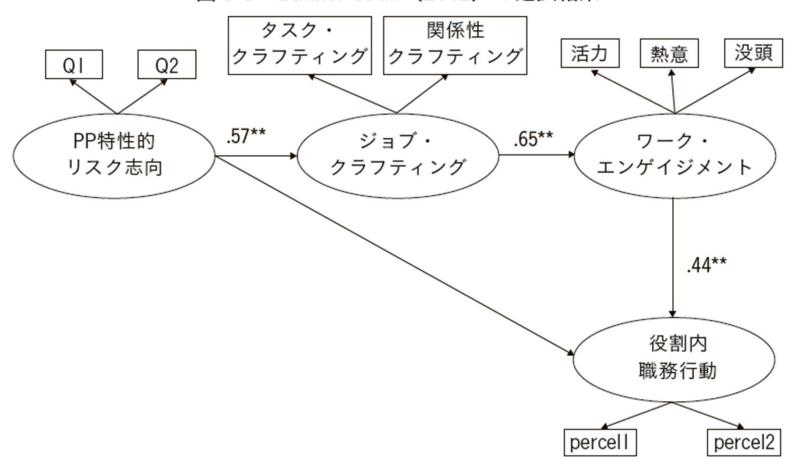
(5)ジョブ・クラフティングの影響と効果



参考 1

本書第8章「ジョブ・クラフティングの 先行要因とその効果」より

図 8-3 Bakker et al. (2012) の追試結果



調査結果レポート

帝京大学町支研究室・横浜市教育委員会・ベネッセ教育総合研究所 共同研究

教職員の「働き方の改善」と「学びの充実」を 両立できる学校づくり調査

長時間労働に向き合うためには?

① ジョブクラフティング:仕事のとらえ直し

勤務時間を短くするうえでのヒントを得るために、勤務時間の短い教員の特徴を見ていきます。ここでは、勤務時間の短群と中長群の 2 群に分けて見ていきます。 勤務時間の短群は、ジョブクラフティングを行っています。 https://berd.benesse.jp/up_images/research/202211_kyoshokuin_report.pdf

調査結果レポート

帝京大学町支研究室・横浜市教育委員会・ベネッセ教育総合研究所 共同研究

教職員の「働き方の改善」と「学びの充実」を 両立できる学校づくり調査

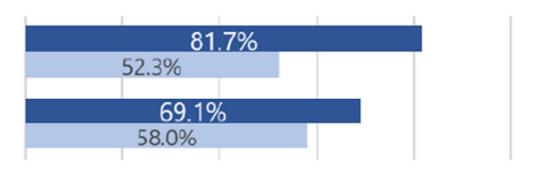
業務自体のクラフティング

仕事をしやすくするために必要な作業を追加したり 不必要な作業を減らしたりする。

自分の担当する仕事を見つめ直すことによって、自分にとってよりやりがいのある仕事に意味づけしている。

認知的クラフティング





■勤務時間_短 ■勤務時間_中長

新著『ジョブ・クラフティング』の紹介



ビジネスを取り巻く ア・クラフティング の研究者たちが多角 ションもわかりやす 上を模索する実務家 多くの気づきを与え

ビジネスを取り巻く環境が激しく変化する時代に注目されるジョブ・クラフティング (JC)。その最新のトピックスについて、第一線の研究者たちが多角的に議論するとともに、実務的インブリケーションもわかりやすく整理。組織のワーク・エンゲイジメント向上を模索する実際家にも本邦で表した。

本書の特徴

- 日本のジョブ・クラフティング 研究者が結集
- 今後の研究の方向性を示す理論 研究と現代的なトピックと関連 した実証研究をバランスよく ミックス
- 実務家を読者に想定した実践的 インプリケーションの提示

第1部 ジョブ・クラフティングの実践 と課題

章	タイトル	執筆者
第1章	ジョブ・クラフティング研究 の現在地	高尾義明・森永雄太
第2章	関係性クラフティングの拡張 と統合	高尾義明
第3章	ジョブ・クラフティングの 認知次元と構成主義	石山恒貴(法政大学 大学院政策創造研究科 教授)
第4章	ジョブ・クラフティングが もたらす職業性ストレス研究 の新たな展開	横内陳正(東京大学 社会科学研究所助教)

第2部 ジョブ・クラフティングの実践 と課題

章	タイトル	執筆者
第5章	ジョブ・クラフティングを 続けるための周囲の支援	森永雄太
第6章	上司のジョブ・クラフティン グと部下のジョブ・クラフ ティングの関連	池田めぐみ(東京大学 社会科学研究所 助教)・高尾義明
第 7 章	産業保健におけるジョブ・ クラフティング	櫻谷あすか(東京大学 大学院医学系研究科 特任講師)
第8章	ジョブ・クラフティングの 先行要因とその効果	細見正樹(関西大学 商学部准教授)・ 関口倫紀(京都大学 経営 管理大学院教授)

5章ジョブ・クラフティングを 続けるための周囲の支援

1. 問題意識

「本章の目的は、従業員がジョブ・クラフティング (以下JC)を続けるために組織や上司がどのような支援 を行うことが必要なのかについて検討することである。 そのために本章では、JCを行うことで生じる意図せざる 悪影響に注目し、その内容や発生プロセスについて職場 の上司や同僚といった周囲の視点から探索的に明らかに していく。」

- 2. 調査の方法(略)
- 3. 結果 (略)

5章ジョブ・クラフティングを 続けるための周囲の支援

4. 考察

「JC を支援するために組織や上司は4 つの支援を行っていることが明らかになった。具体的には、①機会提供、②能力開発、③共有支援、④方向づけ支援、の4 つである。【中略】組織や同僚は、共有支援や方向づけ支援を通じてJC によってもたらされる3 つの副作用に対処していることが明らかになった。具体的には、①こだわり「すぎ」がやりすぎを生む、②偏り「すぎ」が成長を阻む、③抱え込み「すぎ」が従業員の役割適応を阻む、である

5. まとめ (略)

5章ジョブ・クラフティングを 続けるための周囲の支援

表 5-2 副作用を引き起こす行動とその影響

	行動	結果
I	仕事へのこだわり	負担の増加
2	仕事の偏り	成長機会の喪失
3	仕事の抱え込み	役割不適応

第3部 ジョブ・クラフティングの実践と課題

章	タイトル	執筆者
第9章	テレワーク下のジョブ・クラ フティング	細見正樹(関西大学 商学部准教授)
第10章	協同志向ジョブ・クラフティ ングの可能性	藤澤理恵 (リクルート マネジメントソリュー ションズ組織行動研究 所主任研究員他)
第11章	シニア労働者のジョブ・クラ フティング	岸田泰則(法政大学 大学院政策創造研究科 兼任講師)
第12章	高度外国人材のジョブ・クラ フティングとインクルーシ ブ・リーダーシップ	小山健太(東京経済 大学コミュニケーショ ン学部准教授)

塩川太嘉朗さんの no+e



【記事まとめ】ジョブ・クラフティ

ング ぁ …

田 65本

ジョブ・クラフティング関連のブログのまとめ。

フォローする

運営しているクリエイター



塩川 太嘉朗(SHIOKAWA Takao)

記事 月別 ハッシュタグ

★ 固定された記事

【論文レビュー】ジョブ・クラフティング研究の現在地:高尾・森永(2023)

『ジョブ・クラフティング:仕事の自律的再創造に向けた理論的・実践的アプローチ』の両編著者による第1章「ジョブ・クラフティング研究の...





塩川 太嘉朗 (SHIOKAWA Takao) 1か月前



【論文レビュー】関係性クラフティングの拡張と統合:高尾(2023)

『ジョブ・クラフティング: 仕事の自律的再創造に向けた理論的・実践的アプローチ』の第二章のざっくり解説です。ジョブ・クラフティング (...



もう1冊のジョブ・クラフティング書籍 『「ジョブ・クラフティング」で始めよう 働きがい改革・自分発!』

東京都立大学大学院教授 高尾 義明 著

何に働きがいを感じるか、それは人それぞれで個人差が大きいものです。お給料の良し悪しか、仕事内容か、あるいは周囲からのリスペクトかも知れません。働きがいをより良くしていくためには、働く人たち一人ひとりに寄り添うような考え方が求められるのではないでしょうか。

ジョブ・クラフティングという言葉は、従業員が仕事を みずから変化させ仕事を再創造する、というところから来 ています。「自分で仕事にひと匙、仕事の再創造」が働き がいにつながるのです。

自分発の働きがい改革を進め、ワークライフをより豊かなものに変えていくきっかけ作りのための一冊です。



公益財団日本生産性本部生産性労働情報 センター刊